

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	国府津病院新西館建替計画	階数	地上3F
建設地	小田原市田島字三ツ又125-1、130-1	構造	S造
用途地域	第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	200人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年2月 予定	評価の実施日	2021年2月28日
敷地面積	2,161㎡	作成者	株式会社病院システム一級建築士事務所
建築面積	1,224㎡	確認日	
延床面積	2,564㎡	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外のオンサイト手法 ④上記+オフサイト手法

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.5

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項

総合	その他	
潜熱回収型給湯器、LED照明を採用することにより、設備システムの高効率化に努めた。	特になし	
Q1 室内環境 内装材料のほぼ全面にF☆☆☆☆を採用し、十分な換気量を確保するなど、室内環境の向上に努めた。	Q2 サービス性能 耐久性の高い材料を選定し、更新間隔が長くなるよう配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) 既存の建物と調和するような外観とした。
LR1 エネルギー 断熱材を強化し、建物の熱負荷抑制に考慮した。	LR2 資源・マテリアル 節水型水栓、節水型便器を採用し、水資源の保護に配慮した。	LR3 敷地外環境 光害対策のチェックリストの過半を満たすことにより、光害の抑制に努めた。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される